

007 スカイフォール

SKYFALL

鑑賞日 2016・12・26

制作 2012年 英・米

上映時間 142分

監督 サム・メンデス

原作 イアン・フレミング

主演 ダニエル・クレイグ、ジュディ・デンチ、ナオミ・ハリス、ハビエル・バルデム

(あらすじ)

「007」をコード名に持つMI 6のエージェント、ジェームズ・ボンド（ダニエル・クレイグ）は新人女性エージェントのイヴ（ナオミ・ハリス）とともにトルコでの作戦に参加していた。その最中、MI 6の職員たちが殺され、各国のテロ組織に潜入している総てのNATOの情報が収められているハードディスクが奪われた。奪われたディスクを奪還する命令がボンドに出された。ボンドは実行犯と目されるフランス人傭兵パトリスを追跡する。イヴもパトリスを追い、パトリスに照準を合わせようとするが、ボンドと列車の上で格闘中なので射撃できない。MI 6部長Mの指令で発砲するが、弾はボンドに当たり峡谷に落下して行方不明となり、パトリスは逃亡する。数か月後、ボンドの死亡が公式に認定された。

ロンドンでMI 6本部の部長M（ジュディ・デンチ）のコンピューターが何者かにハックされ、さらにMI 6本部も爆破された。このニュースは僻地で密かに過ごしていたボンドの目に入り、ボンドはロンドンに戻る。古い地下壕を利用したMI 6の newborn本部での「00」の復帰テストの成績は惨憺たるものであったが、Mはボンドの復帰を承認する。

ボンドは自身の肩に残っていた弾丸の破片からパトリスを特定し、新任の兵器開発課長Qから装備を受け取って、パトリスの向かう上海に赴く。上海でボンドは格闘の末、パトリスを倒したものの、雇い主が誰なのかを聞きだすことに失敗。パトリスの所持品にあったカジノのチップを手掛かりに、ボンドはマカオに向かう。カジノでボンドはパトリスの仲間らしい謎の女性、セヴリン（ベレニス・マーロー）に接触。セヴリンの船で、雇い主のいる廃墟の島に向かい、島でボンドは雇い主のラウル・シルヴァ（ハビエル・バルデム）と対決する……

(解説)

この映画は『007 ドクター・ノー』から始まる『007』シリーズの50周年記念事業の一部として企画された。監督には『アメリカン・ビューティー』でアカデミー作品、監督賞等を受賞したサム・メンデスが起用され、オスカー受賞監督が『007』シリーズで初のメガホンをとることになった。シリーズ23作目になる。この企画は大当たりで、公開当初から評判となり、興業収入は制作費1億5千万ドル～2億ドルの5倍以上の11億ドルを上げている。これだけ多くの観客の支持を集めたのは、巧みなストーリー展開、個性的俳優の魅力、格闘を中心としたアクション等が考えられるが、やはりサム・メンデスの優れた演出力であろう。007を演ずるダニエル・クレイグ（1968～）は英国生まれ。『007』シリーズでは『カジノ・ロワイヤル』（2006年）で6代目ジェームズ・ボンドに起用され、『慰めの報酬』（2008年）に続き、本作は3本目のボンド役となる。寡黙でタフな演技は原作のジェームズ・ボンドのイメージに最も近いと評価も高い。また、悪役シルヴァを演じるハビエル・バルデム（1967～）はスペイン国籍の演技派俳優で、圧倒的な迫力で観客に迫ってくる。最近の『007』シリーズの悪役に魅力がないとの悪評を一気に吹き飛ばす怪演である。